南あわじ市 平成 21 年度 事務事業評価シート 口 新規 ☑ 継続 - ____ (事業 委託 補助用)

I 基本事項 整理番号							番号	86	1	
事業名	細北	観光ボランティア養成講座委託			会計	一般会	計・1			
事 耒 石 餓兀小ノノナイが食成禑 			座女礼	算科	款	商工費	1・7款			
担当部課名	産業	産業振興部 商工観光課			項	商工費	1.1項			
電話	0799	99 - 37 - 3012			目	観光振	興費·3	目		
事業分類		義務的(法定)事務	法的根拠なし							
争未刀积	>	任意的(自治)事務	(法令、条例、要綱等)		1 ⁴ ·					
まちづくりの		まちづくりの柱	職食づく!)夢ぁ	ふれ_	働く場る	を生み出	ぱすまち	づくり_	
南あわじ市総合			行って楽しい交流・感動の舞台【観光・交流】							
施策体系	施策目標		市民自ら地域の魅力を知り、あらゆる方面からみんなで発信し、南							
			あわじファンを増やす							
該当する事業について「」を選択			施策的事業		業別	务委託		負担	金補助	

Ⅱ Plan (計画、事業内容、事業背景)

	riaii	(前) 一、争未内台、争未自忠/								
		対象(誰を・どのような状況の人に)								
		市民	対象人数(人)							
			52,410							
	目的		ŕ							
		意図(どのような状態になってもらいたいのか、事業を実施する「本来の目的								
		市民誰もが、あらゆる場で来訪者に南あわじ市の魅力を紹介・案内するこ	ことができる							
		とともに、ホスピタリティ(もてなしの心)をもって接することができる。 市民が地域の魅力を知る機会を提供し、案内人としての能力を育てる。								
		市民が地域の魅力を加る機会を提供し、案内人としての能力を育てる。 来訪者に地域の魅力を伝える。								
		観光協会と協力を行いながら、観光ボランティアガイドを育成する。								
		(何もじのとこれぞの 中京 チ順にとり日的も法式させてのか)								
事		(何をどのような手段·内容·手順により目的を達成させるのか) ・ガイド養成講座の開催 11/8~3/21 全講座7回 受講者数13名								
-			. 8 名							
業	実	・ガイド実績	• п							
	施	H20 おのころ島神社、諭鶴羽古道、沼島 計20回								
概	内	H21 おのころ島神社、諭鶴羽古道、沼島、道の駅うずしお 計10回	- F 1 L							
要	容	渦潮について研修を重ね、3月13日から毎週土曜日に道の駅うずしおて ガイド」を実施	゛゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゙゚゚゚゙゚゚゙゚゚゙゚゚゙゚゚゚゙゚゚゙゚゚゚゙゚゚゚゚							
女		ガイト」を美胞								
		(どのような現状・課題・要望があったか、また委託に至った根拠、他の自治体	本の動向)							
	背	日本各地で、その地域の魅力を紹介する観光ボランティアガイドが、積極								
	景	お客様への真心のこもった案内によって、高い評価を得られている事例が評	別となって							
	· *	いる。	- 4- 1" + 🗆 4"							
	委 託	南あわじ市においても観光地における付加価値を高めるため、早急に南あ 地域の魅力を紹介、案内できるガイドの育成が望まれている。	うわし中氏か							
	根	ガイド育成にあたっては、観光情報に精通した方による指導・教育が必要	きとされるた							
	拠	め委託とした。								
		美実施主体)							
	4	事業期間 口 平成 年度 ~ 平成 年度 ☑	設定なし							
合併		(合併前においての事業実施団体と合併時における事務調整経緯)	カナナン							
協		旧緑町 □ 旧西淡町 □ 旧三原町 □ 旧南淡町 □ 旧広域事務組合 □	新市から							
協議										
事										
務										
調整内										
中内										
容										

Ⅲ Do(事業活動・成果、投入資源・コスト)

山 DO(事業活動・放果、投入資源・コスト)								
		指標名	ガイド認定者数、ガイド実施実績			才	指標単位 人	
		指標説明 (指標算出 方法等)	養成講座を修了した認定者数 ボランティアガイド実施状況					
事	業に対する		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	
目	標の設定	目標値		20	20	20	20	
		実績値		27	8	11		
		達成度 (%)	-	135.0	40.0	55.0	-	
		目標値設定 の考え方	前年度認定者					
			平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	
	直接事業費 (千円)		0	300	300	300	300	
	観光ボランティア養成講座委託料			300	300	300	300	
資	財	原 (千円)						
源		<u> </u>						
配分		<u> </u>						
		!債						
7		の他						
ン		才源[A]	0	300	300	300	300	
プ	人件費(正規職員)[B] (千円)		0	903	837	846	846	
ッ	平均人件費(1日当り)		29.9	30.1	27.9	28.2	28.2	
	事業量1(事業に要した日数)			30	30			
	事業量2(事業に要した人数)			1	1	1	1	
	年間経費	([A]+[B])	0	1,203	1,137	1,146	1,146	
	「目的」対象人数1/		0.0	23.0	21.7	21.9	21.9	
	経費に関する 補足説明							

Ⅳ Check (事業の自己評価・一次評価)

	Check(事業)							
			平成18年度		平成20年度		平成2	2年度
	目標達成度	%	-	135.0	40.0	55.0		-
	(事業目標の達成度を							
	11月~3月にかけて							自己(5
達	4月~3月まで、国	生みの	里によるガイ	ド及びカイド 「	場所の研究、こ	うすしおガイト	[*] の実	
成	│施 │ 吹矢舟は鎌∝妥謙		タズ小かかっ:	たため 今年	在什维应太口吗	9口に安佐した		点評
度	│ 昨年度は講座受講 の結果、受講生は1							○ 価
	今後、ターゲットや						, ₁ ,	
	一方、講座修了生						Rうず	
	しおでの「うずしお							3
	ることになったこと	は今後	の活躍に繋がる	るものとして語	評価できる。			
	(住民満足度の分析、	問題点	・課題などを記	入。)				_
	観光地の魅力を伝							(5己
	道の駅うずしおで	-					多了生	点評
有	┃の活躍の場ができた	ほか、	観光地の付加の	価値を高め、ī	市内の観光PF	Rに繋がる。		い価
効性	一・一・一・一・一・一・一・一・一・一・一・一・一・一・一・一・一・一・一・	≠∷+	応の草焦さけ	毕	2. 维美市家店	- ナナナ ゆっょ	T14.22) ш
111	│ 課題については、 │講者は伸びると考え			い神座用作物に	yr、	- 土大を焼りて	区の区	
	神台は中じるとうん	2160	•					4
		単位	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成2	2年度
	事業単価	円	0.0	0.0	21.7	21.9		21.9
	(効率性・コストの分析							}
☆h	養成講座開催だけ					ェアルの作成、	研鑽	(5己
効率							点評	
性								シ 価
'								• іш
								4
	公共性の高低	V	高	中	低			
	(公共性、市民ニーズ				,	7.4.4.		
			4 11- 1-1 - 1 - 1		えにわる 玉ト	1分体のホフレ		白
			を目指すためし		70110° 111	に主体の小人し	ピタリ	
必	観光立巾 ' 南めわ ティーの向上による 				√511 50 NE	モー体の小人に	<i></i> ピタリ	自己評
要					19118, IND	て王仲の小人に	ピ タリ	自己評価 (5点)
					19118. Пр	も主体の小人に	<i></i>	点評
要					1911 0 . IJE	て王仲の小人に	<i>゚゚゚</i> ゚゚゚゚ タリ	点評
要					19110. IJE	でまゆの小人に	ピタリ	点評
要	ティーの向上による	市のイ	メージアップ		10110. III	(主体の小人)	ピタリ	点評
要	ティーの向上による自己評価を	市のイ	メージアップ た現状分析	は大きい。	10110. IJE	でまゆの小人に	ピタリ	点評
要	ティーの向上による 自己評価を 養成講座について	市のインのまえ、受講	メージアップ た現状分析 者数を増やす	は大きい。		も主体の小人に	<i>ੁ</i> ੰ <i>9</i> リ	点評
要	ティーの向上による 自己評価を 養成講座について 日曜日に実施したが	市のイ 、 、 で まえ 、 受 講 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	メージアップ た現状分析 者数を増やする 人数に達する	ためにことが	価グラフ	も主体の小人に	ピ タリ	点評
要	ティーの向上による 自己評価を 養成講座について	市のイン・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	メージアップ た現状分析 者数を増やする 人数に達する	ためにことが	価グラフ	達成度	ピ タリ	点評
要	ティーの向上による 自己評価を 養成講座について 日曜日に実施したが 出来なかった。来年	市のイン・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	メージアップ た現状分析 者数を増やする 人数に達する	ためにことが	価グラフ		<u></u>	点評
要性	ティーの向上による 自己評価を 養成講座について 日曜日に実施したが 出来なかった。来年 目標の人数に近づけ ボランティアガイ	市の ぶま 三 で で に に に に に に に に に に に に に	た現状分析 者数を増やする 表内容等を見ご 生みの里」に	ためにが直し、つい	価グラフ		<u>゚</u> ゚゚゚゚゚゚゚	点評
要性	ティーの向上による 自己評価を 養成講座について 日曜日にかしたが 出来なかった。 子・アガイ で、「国生み神話」	市の ま受標はい 「テース・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	た現状分析 者数を増やする 義内容等を見 生みの里」に マとしたおの	ためにが直し、ついる島	価グラフ		<u>゚゚</u> ゚゚゚゚゚゚	点評
要性総合	ティーの向上による 自己評価を 養成講座にしている 日曜とかった。 日標の人数に近が年 目標の人数に近がイ で、「国生みずイ で、 神社と沼島のガイド	市の ま受標はい 「テ加え講の講。 国ーえ	大 ・現状分析 者数に容等を見 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	は大きい。	価グラフ	達成度 5 T 4 T 3 2 T 1 T		点 注 4
要性総合評	ティーの向上による 自己評価を 養成講座にしたが出標の人数にでいる。 で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、	市 ふ、目度た ドをにイの ま受標はい 「テ加ド」 コーえ」	メージアップ 大現状分析 者数で等を見 表内の のした 出の で まままで まままで まままで を まままで まままで まままで まままで まままで まままで まままで まままで まままで まままで ままままで ままままで ままままで ままままで ままままで ままままで ままままで ままままで ままままで まままままで ままままで ままままで ままままで ままままで ままままで ままままで ままままで ままままで まままままで ままままで ままままで ままままで ままままで ままままで ままままで ままままで ままままで ままままで ままままで ままままで ままままで ままままで ままままで ままままで ままままで ままままで まままままで ままままで ままままで ままままで ままままで ままままで ままままで ままままで ままままで まままままで ままままで ままままで ままままで ままままで ままままで ままままで ままままで ままままで まままままで まままままで ままままで ままままで ままままで ままままで ままままで ままままで ままままで ままままで ままままで ままままで まままで ままままで ままままで ままままで ままままで ままままで ままままで ままままで ままままで ままままで ままままで ままままで ままままで ままままで ままままで ままままで ままままで まままで ままるで ままままで まままるで まままるで ままままるで ままままるで まままるで まままるで まるるるで まるる	は大きい。 にが、 自 いろには いろには いろには いろには	価グラフ	達成度 5 4 4 3 2	_ 有 交 □	点 注 4
要性総合	ティーの向上による 自己評価を 養成講実につした来で 日曜来の人 ンま生のでは、ア神ガしを で、社とる「か知がした。 が、「といっでは、ア神ガしを が、たいで、ア神ガしを が、たいで、ア神ガしを が、たいで、ア神ガしを が、たいで、ア神ガしを が、たいで、ア神ガしを が、たいで、ア神ガしを が、たいで、ア神ガしを が、たいで、ア神ガしを が、たいで、ア神ガしを が、たいで、ア神ガしを が、たいで、ア神ガしを が、たいで、ア神ガしを が、たいで、ア神ガしを	市 ふ、目度た ドをにイめの ま受標はい 「テ加ドた	メージアップ ・現状を増達する が開始する。 が開始する。 が開始する。 が開始する。 はいまままます。 はいまままます。 はいまままます。 はいまままます。 はいまままます。 はいまままます。 はいまままます。 はいまままます。 はいまままます。 はいまままます。 はいまままます。 はいまままます。 はいまままます。 はいまままます。 はいまままます。 はいまままます。 はいまままます。 はいまままます。 はいままままます。 はいままままます。 はいままままます。 はいまままままます。 はいまままままままままままままままままままままままままままままままままままま	は大きい。 にが、 自 いろには いろには いろには いろには	価グラフ	達成度 5 T 4 T 3 2 T 1 T		点 注 4
要性総合評	ティーの向上による 自己評価を 養成講座にしたが出標の人数にでいる。 で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、	市 ふ、目度た ドをにイめの ま受標はい 「テ加ドた	メージアップ ・現状を増達する が開始する。 が開始する。 が開始する。 が開始する。 はいまままます。 はいまままます。 はいまままます。 はいまままます。 はいまままます。 はいまままます。 はいまままます。 はいまままます。 はいまままます。 はいまままます。 はいまままます。 はいまままます。 はいまままます。 はいまままます。 はいまままます。 はいまままます。 はいまままます。 はいまままます。 はいままままます。 はいままままます。 はいままままます。 はいまままままます。 はいまままままままままままままままままままままままままままままままままままま	は大きい。 にが、 自 いろには いろには いろには いろには	価グラフ	達成度 5 T 4 T 3 2 T 1 T		点 注 4
要性総合評	ティーの向上による 自己評価を 養成講実につした来で 日曜来の人 ンま生のでは、ア神ガしを で、社とる「か知がした。 が、「といっでは、ア神ガしを が、たいで、ア神ガしを が、たいで、ア神ガしを が、たいで、ア神ガしを が、たいで、ア神ガしを が、たいで、ア神ガしを が、たいで、ア神ガしを が、たいで、ア神ガしを が、たいで、ア神ガしを が、たいで、ア神ガしを が、たいで、ア神ガしを が、たいで、ア神ガしを が、たいで、ア神ガしを が、たいで、ア神ガしを	市 ふ、目度た ドをにイめの ま受標はい 「テ加ドたと え講の講。 国ーえ」ほ期	大 現状分析 者数 大 表数に で を は な を は で を は の し の し の し の し の し の し の し の し の し の に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 。 に 。 。 に 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。	たこ直 いるには内のこ日と市	価グラフ	達成度 5 T 4 T 3 2 T 1 T		点 注 4
要性総合評	ティーの向上による 自に施まででは、ア神ガし値ができるが年は、 神体ででが年が、大きなのができるが、大きなのができるができるができるができるができるができるができるができるができるができる	市 ふ、目度た ドをにイめの ドよの ま受標はい 「テ加ドたと のり え講の講。 国ーえ」ほ期 必効	た 現 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大	は大きい。 にが、 島実観の 協 般光し いろには内 協 観光	価グラフ	達成度 5 4 3 2 1		点 注 4
要性総合評	ティーの向上による 自に施 一をでは、 一をでは、 一をでは、 一ででは、 一ででは、 一ででができるが、 一ででがなり、 一ででがなり、 一ででがなり、 ででは、	市 ふ、目度た ドをにイめの ドよの ま受標はい 「テ加ドたと のり え講の講。 国ーえ」ほ期 必効	た 現 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大	は大きい。 にが、 島実観の 協 般光し いろには内 協 観光	価グラフ	達成度 5 T 4 T 3 2 T 1 T		点 注 4
要性総合評	ティーの向上による 自に施まででは、ア神ガし値ができるが年は、 神体ででが年が、大きなのができるが、大きなのができるができるができるができるができるができるができるができるができるができる	市 ふ、目度た ドをにイめの ドよの ま受標はい 「テ加ドたと のり え講の講。 国ーえ」ほ期 必効	た 現 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大	は大きい。 にが、 島実観の 協 般光し いろには内 協 観光	価グラフ	達成度 5 4 3 2 1		点 注 4

V Action & Plan (改善の内容及び次年度以降の計画)

	平成22年度にできる改善・改革	平成23年度以降にできる中期的な改善・改革
	☑ 現状維持 ☐ 休止·廃止 ☐ 事業統廃合	☑ 現状維持 ☐ 休止·廃止 ☐ 事業統廃合
今	□ 予算充実 □ 予算削減 □ 手法見直U	→ 予算充実 → 予算削減 → 手法見直し
後	委託先の観光協会には、現状の経費で養成講 座開催及びボランティアガイド組織・体制作り	今後、魅力ある講座内容の工夫や周知方法の 改善を検討するとともに、「国生みの里」が活
の方向性とそ	を行なって頂いており、ガイドの活躍による波	
白	及効果により、全市民のホスピタリティー(お	
性	もてなしの心)の向上を期待するもので、平成 22年度も継続して実施する。	
٤	22千反の絶別ので失心する。	
その		
理		
由		
現		
具状体維		
) か 的持		
な以		
改外		
善の方場		
法合		
)		
	効果(アウトカム)面	効果(アウトカム)面
	効未(アクドガム)面	対未(アラドガム) 面
3 <i>h</i> -		
改善会		
に現に状		
よ維		
善によって期待(現状維持以外		
期外	コスト面	コスト面
が待される効果外の場合)		
れ合		
対		
果		
	仮に事業を中止、統廃合した場合に予測される影響(プ	ラス面、マイナス面)
現	平成19年度より始めた新規事業であり、ボラ	ンティアガイド組織・体制が機能するまでの期
中状	間は、市からの委託による事業継続が必要と考 事業中止・廃止をした場合、ボランティアガ	
止維・持		イトの自成・組織作りはてきないこちんる。 協会の独自事業として、継続されることが望ま
統の	しいとは考える。	
廃場		
合合のも		
影記		
響入		